

○近畿・中国・四国地方の地震活動

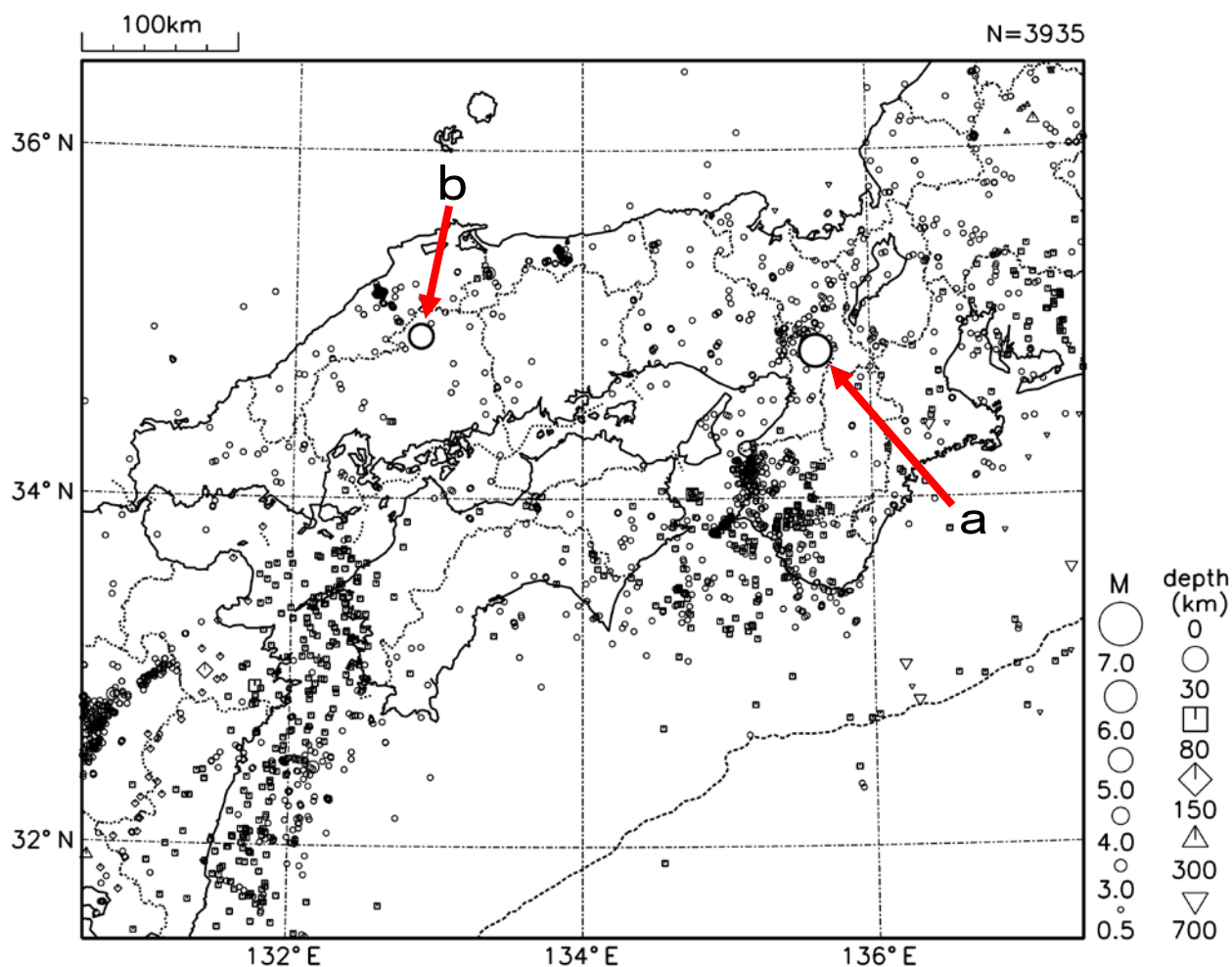


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2018年6月1日～6月30日、M \geq 0.5)

[概況]

6月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は63回（5月は14回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

18日07時58分に大阪府北部の深さ13kmでM6.1の地震（図8中のa）が発生し、大阪府で震度6弱を観測したほか、近畿地方を中心に、関東地方から九州地方の一部にかけて震度5強～1を観測した。この地震により、死者4人、住家全壊9棟などの被害が生じた（7月5日18時00分現在、総務省消防庁による）。

この地震発生後、30日までに、最大震度4の地震が1回、最大震度3の地震が4回発生するなど地震活動が活発となった（p6、90～112の特集参照）。

26日17時00分に広島県北部の深さ12kmでM5.0の地震（図8中のb）が発生し、広島県三次市・庄原市、島根県飯南町で震度4を観測したほか、中国・四国地方と兵庫県、福岡県、大分県で震度3～1を観測した（p6、13参照）。